

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		決勝																
日時	平成29年3月26日 (日)	14:20 ~																
会場	江別市民体育館 Aコート																	
結果	札幌地区選抜A	<table border="0"> <tr><td>10</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	10	—	8	15	—	11	18	—	10	18	—	14		OT		石狩地区選抜
	10	—	8															
15	—	11																
18	—	10																
18	—	14																
	OT																	
	61		43															

第35回北海道ジュニアオールスターバスケットボール大会  
2年生大会



【ボックススコア】

札幌地区選抜A								
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	船水 結妃	／	3	1	0	0	0	1
5	塚 美咲	／	0	0	0	0	0	0
6	大東 早希	／	2	0	1	0	0	0
7	宮村 月菜	／	5	0	2	1	0	3
8	柴田 愛理	×	7	1	2	0	1	2
9	斎藤 結香	×	0	0	0	0	0	0
10	梅田 侑南	／	10	0	5	0	0	0
11	川村 真里菜	／	2	0	1	0	0	1
12	今野 史珠	／	4	0	2	0	1	0
13	山川 萌絵	／	6	0	2	2	6	1
14	田島 若菜	／	4	0	1	2	0	1
15	八木 明日香	／	0	0	0	0	0	0
16	江畑 光琉	×	5	1	1	0	3	1
17	小林 優月	×	3	0	1	1	3	1
18	飯田 乃愛	×	10	0	5	0	6	1
HC	松井 智弘							
合計			61	3	23	6	20	12

石狩地区選抜								
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	今野 菜優	×	2	0	0	2	1	0
5	渡野部 葉月	／	1	0	0	1	0	3
6	野原 里桜	×	10	2	2	0	2	0
7	沢目 綺良梨	／	2	0	1	0	0	1
8	森谷 仁那	／	0	0	0	0	0	0
9	渡邊 麗心	×	0	0	0	0	0	2
10	古本 あんり	／	8	1	1	3	2	0
11	長居 祐花	×	0	0	0	0	0	1
12	田淵 琴音	／	3	1	0	0	1	0
13	鶴巻 智梨	／	0	0	0	0	0	1
14	内海 琳音	／	0	0	0	0	1	0
15	近藤 希和	／	4	0	2	0	2	0
16	齋藤 こはる	／	7	0	2	3	4	0
17	櫻庭 香実	／	2	0	1	0	0	0
18	長谷川 仁愛	×	4	0	2	0	0	2
HC	塚本 総朗							
合計			43	4	11	9	13	10

出場 ×:スターター      /:途中出場      DNP:出場なし  
得点 3P:3ポイントシュート    2P:2ポイントシュート    FT:フリースロー

【選 評】

札幌地区対石狩地区による決勝。  
札幌#8#9#16#17#18。石狩#4#6#9#11#18。  
札幌は#9のドライブ、#8のアウトサイドを中心に攻撃。守っても、ディフェンスリバウンドを確実にものにし、石狩を3分間ノーゴールにおさえる。しかし、札幌のシュートもなかなか決まらず、点差を離せない。石狩は交代出場した、#15#18の得点で残り1分で同点に追いつく。最後は札幌#16のシュートで札幌2点リードで1Q終了。  
2Q札幌#4#7#10#13#14。石狩#5#7#10#14#16。  
札幌#14のオフェンスリバウンド等で5点差と突き放しにかかる。しかし、石狩も走力のある#7のブレイク、#16のバスケットカウントで3分過ぎに同点に追いつく。ここで札幌タイムアウト。タイムアウト後、札幌#14のスチールなどで再び5点差をつける。石狩タイムアウト。札幌はオールコートプレスを強め、ゲームの流れを支配する。札幌6点リードで前半終了。  
3Q札幌#4#7#16#17#18。石狩#4#6#9#11#18。  
札幌は得点能力の高い#13を中心に攻撃する。石狩も2本の3ポイントで何とか粘るも、シュートが単発になってしまう。札幌はオフェンスリバウンドも確実にものにし、点差を12点差とする。残り30秒石狩タイムアウト。タイムアウト後、札幌#11のスチールで14点差とし、3Q終了。2点以上の価値あるスチール。  
4Q札幌#8#9#13#14#17。石狩#5#10#13#15#18。  
14点差を追う石狩はオールコートでプレッシャーをかける。点差を縮めたくても、シュートが決まらずなかなか10点差をきれない。札幌のポイントガード#9の落ち着いたゲームコントロール、#10のスチールなどで得点差をつける。  
自分たちの持ち味・雰囲気をも十分に発揮した、好ゲームであった。また、2階席から両チーム一生懸命に応援する中学生も立派であった。